

令和2年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ

[ピアノコース]

到達指標

1 [知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

- (1) 曲の調性や楽語について理解することができる。
- (2) 曲を理解するための歴史や作曲家についての必要な知識を身につけることができる。

2 [思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。

- (1) 楽譜を読み、書くことができる。
- (2) 演奏に適した調を判断し、必要に応じた移調ができる。

3 [技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

- (1) 専門家として必要な演奏の技術、楽器修復技術などを身につけることができる。
- (2) 関係職種とコミュニケーションを取り、問題解決に取り組むことができる。

4 [関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

- (1) 積極的で継続した学びの態度を身につけることができる。
- (2) 音楽が人と人を結びつけるものであることを理解でき、人に伝えることができる。

① [知識・理解]

② [思考・判断・表現]

③ [技能]

④ [関心・意欲・態度]

1年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
基礎科目	前期	ヴォーカルⅠ	◎	◎	○	○
		ソルフェージュⅠ	◎	○	△	○
		音楽理論Ⅰ	◎	○		○
	後期	ヴォーカルⅡ	◎	◎	○	○
		ソルフェージュⅡ	◎	○	△	○
		音楽理論Ⅱ	◎	○		○
専門科目	前期	ピアノⅠ	○	◎	◎	○
		副科電子オルガンⅠ	○	○	◎	◎
	後期	ピアノⅡ	○	◎	◎	○
		副科電子オルガンⅡ	○	○	◎	◎
選択科目	前期	グレード対策A(ピアノ)Ⅰ	○	○	◎	◎
		グレード対策BⅠ	◎	◎	◎	△
		グレード対策A(電子オルガン)Ⅰ	○	○	◎	◎
		グレード対策基礎Ⅰ	◎	○	○	△
		サウンドメイクⅠ	◎	◎	○	○
		伴奏法(P)	△	◎	◎	○
		音楽心理学	◎	○	△	◎
		音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△
	スポーツ・リクリエーションⅠ	△	◎	◎	◎	
	後期	グレード対策A(ピアノ)Ⅱ	○	○	◎	◎
		グレード対策BⅡ	◎	◎	◎	△
		グレード対策A(電子オルガン)Ⅱ	○	○	◎	◎

2年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
基礎科目	前期	ソルフェージュⅢ	◎	○	△	○
	後期	ソルフェージュⅣ	◎	△	◎	△
専門応用科目	前期	ピアノⅢ	○	◎	◎	○
		卒業演奏Ⅰ	△	◎	◎	△
		副科電子オルガンⅢ	○	○	◎	◎
		P・Or アンサンブルⅡ	△	◎	◎	○
		ピアノ指導法	○	◎	○	○
	後期	楽曲研究	◎	○	○	○
		ピアノⅣ	○	◎	◎	○
		卒業演奏Ⅱ	△	◎	◎	△
		副科電子オルガンⅣ	○	○	◎	◎
		ピアノ特講	◎	△	○	◎
選択科目	前期	演奏グレード対策(ピアノA)Ⅲ	○	○	◎	◎
		演奏グレード対策(ピアノB)Ⅲ	○	◎	◎	△
		演奏グレード対策(電子オルガン)Ⅲ	○	○	◎	◎
		指導グレード対策AⅢ	◎	○	○	○
		指導グレード対策BⅢ	◎	◎	◎	△
		和声学Ⅲ	◎	○	○	△
		ホップ・ミュージックⅠ	○	○	○	◎
		和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○
		音楽療法実践Ⅲ	◎	○	○	◎
		プレイヤー演習	○	○	◎	◎
作譜	◎	◎	△	△		

	グレード対策基礎Ⅱ	◎	○	○	△			音楽総合特講Ⅱ	◎	○	△	○
	サウンドメイクⅡ	◎	◎	○	○			音楽療法・臨床	◎	◎	△	△
	音楽療法演習	○	○	◎	◎			臨床における即興技法Ⅰ	◎	◎	◎	△
	音楽療法・基礎	◎	◎	△	△			生涯スポーツⅠ	◎	○	○	◎
	音楽療法実践Ⅱ	△	◎	◎	◎		後期	演奏グレード対策(ピアノA)Ⅳ	○	○	◎	◎
	スポーツ・リクリエーションⅡ	◎	○	○	◎			演奏グレード対策(ピアノB)Ⅳ	○	◎	◎	△
	音楽総合特講Ⅰ	◎	○	△	○			演奏グレード対策(電子オルガン)Ⅳ	○	○	◎	◎
								指導グレード対策 AⅣ	◎	○	○	○
								指導グレード対策 BⅣ	◎	◎	◎	△
								和声学Ⅳ	◎	○	○	△
								ポピュラーミュージックⅡ	○	○	○	◎
								和太鼓Ⅱ	△	○	◎	○
								音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎
								音楽療法・技法	◎	◎	△	△
								臨床における即興技法Ⅱ	◎	○	◎	△
								生涯スポーツⅡ	○	○	○	◎